

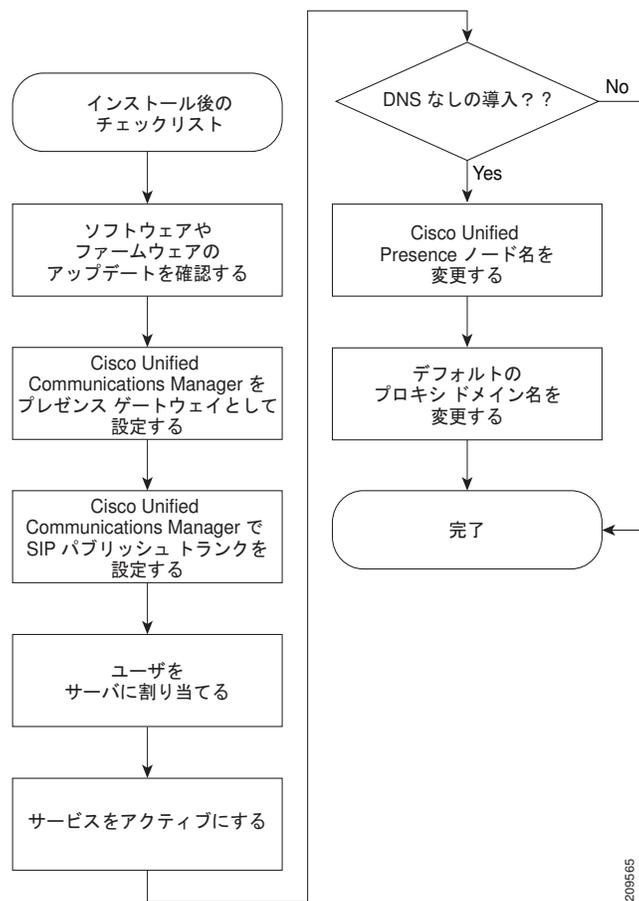


インストール後のタスク

- 「インストール後のチェックリスト」 (P.6-1)
- 「Cisco Unified Presence ライセンス ファイルの取得とアップロード」 (P.6-5)

インストール後のチェックリスト

図 6-1 インストール後のフローチャート



209565

Cisco Unified Presence クラスタにインストールするサーバごとに、次の作業を順番に実行します。

1. Cisco.com で Cisco Unified Presence にソフトウェアのアップデートやファームウェアのアップデートがないか確認します。
「ソフトウェアの更新およびファームウェアのアップデートの確認」(P.6-2) を参照してください。
2. Cisco Unified Communications Manager をプレゼンス ゲートウェイとして設定します。
「プレゼンス ゲートウェイとしての Cisco Unified Communications Manager の設定」(P.6-3) を参照してください。
3. Cisco Unified Communications Manager で SIP パブリッシュ トランクを設定します。
「Cisco Unified Communications Manager での SIP トランクの設定」(P.6-3) を参照してください。
4. ユーザをサーバに割り当てます。
「サーバへのユーザの割り当て」(P.6-4) を参照してください。
5. サービスをアクティブにします。
「サービスのアクティブ化」(P.6-4) を参照してください。
6. DNS なしの導入の場合、Cisco Unified Presence ノード名を変更します。
「Cisco Unified Presence ノード名の解決可能な値への変更」(P.6-4) を参照してください。
7. DNS なしの導入の場合、デフォルトのプロキシ ドメイン名を変更します。
「デフォルトのプロキシ ドメイン名の変更」(P.6-5) を参照してください。



注意

ただし、後続の Cisco Unified Presence サーバをインストールする前に、Cisco Unified Presence パブリッシュ サーバに対してインストール後のチェックリストを実行したことを確認してください。

はじめる前に

Cisco Unified Presence パブリッシュ サーバで、インストール後の導入ウィザードを実行し、Cisco Unified Communications Manager パブリッシュのアドレスおよび AXL パラメータを設定します。「インストール後の導入ウィザードの実行」(P.5-12) を参照してください。

ソフトウェアの更新およびファームウェアのアップデートの確認

Cisco Unified Presence のインストール後は、シスコからソフトウェアやファームウェアのアップデート、重要なパッチやサービスのアップデートがリリースされていないか確認してください。

ファームウェア

致命的な障害が発生するのを防ぐため、最新の包括的なファームウェアのアップデート CD (FWUCD) をできるだけ早く適用してください。

手順

- ステップ 1 www.cisco.com を参照します。
- ステップ 2 [サポート (Support)] > [ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] の順に選択します。
- ステップ 3 [製品 (Products)] > [Voice and Unified Communications] > [Communications Infrastructure] > [Voice Servers] > [Cisco 7800 Series Media Servers (または Cisco UCS B-Series Blade Servers)] > (ご使用のサーバ モデル) に移動します。

- ステップ 4** ファームウェアのアップグレードがある場合、ダウンロードの指示に従い、最新のファームウェアのアップグレードを適用します。

ソフトウェア

Service Updates (SU; サービス アップデート) には、当初のリリースの時点では適用されていなかった修正が含まれています。多くの場合、動作の改善につながるセキュリティ修正、ファームウェア アップデート、ソフトウェア修正なども含まれています。

ソフトウェア アップグレード、サービス アップデート、重要なパッチがないかどうか、www.Cisco.com で確認してください。

手順

- ステップ 1** www.cisco.com を参照します。
- ステップ 2** [サポート (Support)] > [ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] の順に選択します。
- ステップ 3** [製品 (Products)] > [Voice and Unified Communications] > [Unified Communications アプリケーション (Unified Communications Applications)] > [Cisco Unified Presence] > [Cisco Unified Presence のバージョン (Cisco Unified Presence Version)] <ご使用の導入のバージョン> に移動します。
- ステップ 4** ソフトウェア アップグレードがある場合は、ソフトウェアのダウンロード指示に従ってください。

次の作業

[「プレゼンス ゲートウェイとしての Cisco Unified Communications Manager の設定」 \(P.6-3\)](#)

プレゼンス ゲートウェイとしての Cisco Unified Communications Manager の設定

Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified Presence との間のプレゼンス情報交換を処理する SIP 接続を有効にするには、Cisco Unified Presence で Cisco Unified Communications Manager をプレゼンス ゲートウェイとして設定する必要があります。

Cisco Unified Presence でプレゼンス ゲートウェイを設定する方法の詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。



(注) Cisco Unified Presence クラスタにインストールするサーバごとに、この作業を実行します。

次の作業

[「Cisco Unified Communications Manager での SIP トランクの設定」 \(P.6-3\)](#)

Cisco Unified Communications Manager での SIP トランクの設定

Cisco Unified Communications Manager をプレゼンス ゲートウェイとして設定したら、Cisco Unified Communications Manager に SIP PUBLISH トランクを設定する必要があります。詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager に SIP PUBLISH トランクを設定した場合、Cisco Unified Presence でも SIP PUBLISH を有効にする必要があります。詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

次の作業

「サーバへのユーザの割り当て」(P.6-4)

サーバへのユーザの割り当て

ユーザの割り当ては、Cisco Unified Presence の管理ページのサービス パラメータとして自動的に有効になります。クラスタ トポロジでのユーザの自動および手動の割り当ての詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

次の作業

「サービスのアクティブ化」(P.6-4)

サービスのアクティブ化

次のサービスをアクティブにする必要があります。

- Cisco UP SIP Proxy
- Cisco UP Presence Engine
- Cisco UP Sync Agent
- Cisco UP XCP Connection Manager
- Cisco UP XCP Authentication Manager

Cisco Unified Serviceability で [ツール (Tools)] > [サービスの起動 (Service Activation)] の順に選択します。



(注) Cisco Unified Presence クラスタにインストールするサーバごとに、この作業を実行します。

これらのサービスをオンにしたら、Cisco Unified Presence が Cisco UP XCP Router サービスでオンになっているか確認する必要があります。Cisco Unified Serviceability で、[ツール (Tools)] > [コントロールセンター - ネットワーク サービス (Control Center - Network Services)] の順に選択します。



(注) Cisco Unified Presence クラスタにインストールするサーバごとに、この作業を実行します。

トラブルシューティングのヒント

Cisco Unified Presence サーバを使用する前に、Cisco Unified Presence Sync Agent がアクティブになるまで待つ必要があります。

Cisco Unified Presence ノード名の解決可能な値への変更



(注) この項は、DNS を使用しない導入にのみ適用されます。

インストール時に DHCP を使用しない選択をした場合は、Cisco Unified Presence サーバのホスト名と IP アドレスを入力する必要があります。ホスト名は、ヌル、localhost、IP アドレスのいずれにもできません。Cisco Unified Presence ノード名の値は、インストール時に入力したホスト名となり、解決可能な値になっている必要があります。導入環境で DNS を使用していない場合は、Cisco Unified Presence ノード名を解決できません。この状態を解消するには、インストールの完了後に Cisco Unified Presence ノード名を解決可能な値に変更する必要があります。

Cisco Unified Presence ノード名の変更方法の詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

デフォルトのプロキシ ドメイン名の変更



(注) この項は、DNS を使用しない導入にのみ適用されます。

ご使用の Cisco Unified Presence 導入が DNS を使用しない場合は、インストール時にプロキシ ドメイン名が DOMAIN.NOT.SET に設定されます。インストールの完了後にこの値をエンタープライズ ドメイン値に変更することを推奨します。

ドメイン名を変更する前に、クラスタ内のすべてのノードについて、次のサービスを停止する必要があります。

- Cisco UP Presence Engine : [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability)] > [ツール (Tools)] > [コントロール センター - フィーチャ サービス (Control Center - Feature Services)] の順に選択します。
- Cisco UP Proxy : [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability)] > [ツール (Tools)] > [コントロール センター - フィーチャ サービス (Control Center - Feature Services)] の順に選択します。
- Cisco UP XCP Router : [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability)] > [ツール (Tools)] > [コントロール センター - ネットワーク サービス (Control Center - Network Services)] の順に選択します。

デフォルトのプロキシ ドメイン名を変更する方法の詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

デフォルトのドメイン名の変更後は、Cisco UP Presence Engine、Cisco UP Proxy、Cisco UP XCP Router の各サービスを再起動します。

Cisco Unified Presence ライセンス ファイルの取得とアップロード

Cisco Unified Presence の新規インストール直後に、システムはデフォルトで 90 日間の評価モードになります。これは評価用の試用期間です。この期間中は次の操作が可能です。

- 組織に Cisco Unified Presence サーバのライセンスがなくても、このサーバを実行できる
- この組織内のユーザで、Cisco Unified Communications Manager にすでに設定されているユーザは、Cisco Unified Presence にアクセスが可能で、Cisco Unified Personal Communicator を必要なユーザ ライセンス (DLU) がなくても使用できるように設定できる

評価用の試用期間の詳細については、「[ライセンス モード](#)」(P.3-2) を参照してください。

試用期間が終了する前、または終了後に Cisco Unified Presence を実稼動モードに移行するには、正しいライセンス ファイルを取得して、Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified Presence にアップロードする必要があります。

- 「サーバおよびユーザ ライセンス ファイルの取得」 (P.6-6)
- 「Cisco Unified Communications Manager へのユーザ ライセンスのアップロード」 (P.6-7)
- 「Cisco Unified Communications Manager でのライセンス機能の割り当て」 (P.6-7)
- 「Cisco Unified Presence へのサーバ ライセンス ファイルのアップロード」 (P.6-8)
- 「Cisco Unified Presence のライセンス情報の表示」 (P.6-9)

サーバおよびユーザ ライセンス ファイルの取得

シスコ ソフトウェアの発注時に、シスコから Product Authorization Key (PAK; 製品認証キー) が提供されます。PAK は、ライセンス ファイル用のソフトウェア アクティベーション キーを提供します。

はじめる前に

- サーバが物理サーバの場合は、Cisco Unified Presence をホストするマシンの MAC アドレスを確認します。サーバが仮想サーバの場合は、[Cisco Unified OS の管理 (Cisco Unified OS Administration)] で [表示 (Show)] > [ネットワーク (Network)] の順に選択し、サーバのライセンス MAC 値を確認します。
- 有効なメール アドレスを確認します。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページ ([システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス ユニット計算 (License Unit Calculator)]) でライセンス ユニット計算を使用して、必要なデバイス ライセンスの数を特定します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Presence ソフトウェアに付属の PAK を、<http://www.cisco.com/go/license> の License Registration Web ツールに入力します。

ステップ 2 システム プロンプトに従い、次の情報を入力します。

- ライセンスが必要なサーバの MAC アドレスまたはライセンス MAC 値
- 有効なメール アドレス
- ライセンスが必要なサーバとデバイスの数
- サーバ タイプ (物理サーバまたは VMware)
- インストール タイプ (新規インストールまたはアップグレード)

指定したメール アドレスに、サーバおよびユーザ ライセンス ファイルが送信されます。

次の作業

「Cisco Unified Communications Manager へのユーザ ライセンスのアップロード」 (P.6-7)

Cisco Unified Communications Manager へのユーザ ライセンスのアップロード

次のライセンスをアップロードする手順を説明します。

- Cisco Unified Presence 機能のユーザ ライセンス
- Cisco Unified Personal Communicator のソフトウェアおよびユーザ ライセンス

はじめる前に

ユーザ ライセンス ファイルを取得します。

制約事項

ユーザ ライセンス ファイルには、必ず *.lic* という接尾辞が付きます。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] > [システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス ファイルのアップロード (License File Upload)] を選択します。
 - ステップ 2** [ライセンス ファイルのアップロード (Upload License File)] を選択します。
 - ステップ 3** ローカル コンピュータ上でライセンス ファイルを検索します。
 - ステップ 4** [アップロード (Upload)] を選択します。
 - ステップ 5** Cisco Unified Communications Manager サービスを再起動します。
-

トラブルシューティングのヒント

ライセンス ユニット レポートを実行して、ライセンス ファイルが正しくアップロードされていることを確認します。[Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] > [システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス ユニット レポート (License Unit Report)] を選択します。

次の作業

[「Cisco Unified Communications Manager でのライセンス機能の割り当て」\(P.6-7\)](#)

Cisco Unified Communications Manager でのライセンス機能の割り当て

この手順を使用して、Cisco Unified Presence および Cisco Unified Personal Communicator 機能をユーザに割り当てます。



(注)

ユーザに割り当てた機能ごとに、1 つの Cisco Unified Communications Manager DLU が消費されます。

Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) を使用してライセンスを割り当てることもできます。Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[一括管理 (Bulk Administration)] > [CUP] > [CUP/CUPC ユーザの更新 (Update CUP/CUPC Users Administration)] の順に選択します。

はじめる前に

ライセンス ファイルを Cisco Unified Communications Manager にアップロードします。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] > [システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [機能割り当て (Capabilities Assignment)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] を選択します。
- ステップ 3** 次のいずれかの操作を実行します。
- a. 1 ユーザに機能を割り当てるには、ユーザ リンクを選択して [機能割り当ての設定 (Capabilities Assignment Configuration)] ウィンドウを表示します。
 - b. 複数のユーザに機能を割り当てるには、必要に応じてユーザをチェックして、[一括割り当て (Bulk Assignment)] を選択します。
- ステップ 4** [CUP を有効にする (Enable CUP)] をオンにして、Cisco Unified Presence 機能を有効にします。
- ステップ 5** [CUPC (Cisco Unified Personal Communicator) を有効にする (Enable CUPC)] をオンにして、Cisco Unified Personal Communicator 機能を有効にします。
- ステップ 6** [保存 (Save)] を選択します。
-

次の作業

[「Cisco Unified Presence へのサーバライセンス ファイルのアップロード」 \(P.6-8\)](#)

Cisco Unified Presence へのサーバライセンス ファイルのアップロード

次の手順に従って、サーバライセンス ファイル、またはソフトウェア アップグレードの場合はソフトウェア バージョンのライセンスを Cisco Unified Presence にアップロードします。



- (注)**
- Cisco Unified Presence クラスタのパブリッシャ ノードに、Cisco Unified Presence サーバライセンス ファイルのみアップロードします。ライセンス ファイルには、クラスタ内でお客様がライセンスを持つ Cisco Unified Presence Server の数が記載されています。
 - 物理サーバに対して発行されたライセンスは、物理サーバにだけアップロードできます。同様に、VMware ライセンス ファイルは VMware サーバにだけアップロードできます。
-

はじめる前に

- [「Cisco Unified Presence のライセンス要件」 \(P.3-2\)](#) を確認してください。
- Cisco Unified Presence ユーザ ライセンスを Cisco Unified Communications Manager にアップロードします。[「Cisco Unified Communications Manager へのユーザ ライセンスのアップロード」 \(P.6-7\)](#) を参照してください。

- Cisco Unified Presence 機能をユーザに割り当てます。「Cisco Unified Communications Manager でのライセンス機能の割り当て」(P.6-7) を参照してください。

制約事項

ライセンス ファイルには、必ず `.lic` という接尾辞が付きます。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration)] > [システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス ファイルのアップロード (License File Upload)] を選択します。
- ステップ 2** [ライセンス ファイルのアップロード (Upload License File)] を選択します。
- ステップ 3** ローカル コンピュータ上でファイルを検索します。
- ステップ 4** [アップロード (Upload)] を選択します。
- ステップ 5** Cisco UP Sync Agent サービスを再起動します。
-

トラブルシューティングのヒント

- ライセンス ファイルが指定したバージョンが、クラスタ内で実行されている Cisco Unified Presence のバージョン以上である場合に限り、Cisco Unified Presence はライセンス ファイルをアップロードします。バージョンチェックに失敗した場合は Cisco Unified Presence でアラームが生成されます。正しいバージョンのライセンス ファイルを新たに取得する必要があります。バージョンチェックは、メジャー リリースにのみ基づいて行われます。
- ライセンス ファイルが正しくアップロードされていることを確認するには、ライセンス ファイルが [ライセンス ファイルのアップロード (License File Upload)] ウィンドウの既存のライセンス メニューにリストされているかどうか確認します。既存のライセンス ファイル メニューでライセンス ファイルを選択し、[ファイルの表示 (View File)] を選択します。

Cisco Unified Presence のライセンス情報の表示

Cisco Unified Presence の管理ページでは、現在のライセンス情報を表示できます。[ライセンス ユニット レポート (License Unit Report)] ウィンドウに、評価モードの残りの有効日数が表示されます。クラスタのライセンスを保有しているサーバの数と、残りのライセンス数も表示されます。ライセンス ユニット レポートを表示するには、Cisco Unified Presence の管理ページで [システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス ユニット レポート (License Unit Report)] の順に選択します。

ライセンスを持ち、Cisco Unified Communications Manager から同期化されている Cisco Unified Presence ユーザと Cisco Unified Personal Communicator ユーザの数も表示できます。状況ウィンドウには次の情報が表示されます。

- ライセンスを持ち、Cisco Unified Communications Manager データベースから同期化されている Cisco Unified Presence ユーザおよび Cisco Unified Personal Communicator ユーザの数。
- デバイスのユーザ ID とプライマリ内線番号、およびユーザに関連付けられている連絡先の数。
- Cisco Unified Personal Communicator を使用するためのライセンスを持つユーザ。

この情報を表示するには、Cisco Unified Presence の管理ページで [診断 (Diagnostics)] > [システム ダッシュボード (System Dashboard)] の順に選択します。

